

じぶんの声を、あきらめない。

「ケータイショップの仕事って長続きしないらしいのに。お嬢さんが楽しそうなのはなぜ？」母がお友達から聞かれたそうです。なんて説明したらいいのか、私は言葉をもたなかった。もどかしかった。そんな母が先日、お客様として来店してくれた。口で説明できないなら、見て感じてもらいたい。一生懸命対応しました。嬉しそうな顔で帰っていく母。嬉しかった。これが、いまの私の精一杯の答え。確かに、私は未熟。でも、自分の意見を持つことはあきらめてはいけないと思う。たまに社長から届く全社宛てメールもそう。仕事姿勢や価値観など哲学的な内容が多いのですが、正直、内容が難しい。でもあきらめない。自分の身近なエピソードに変換して、返信しています。できるだけ咀嚼して、自分の言葉にする。すると、仕事にも活きる。言葉と仕事はつながっているのかも。そうそう、最近ある感情が芽生えてきたんです。私の人生、私の力で歩いていかなきゃ、強く生きていかなきゃって。どう生きるかなんて、今まで考えたこともなかったのに。いま、自分でもちょっとびっくりしています(笑)。

